

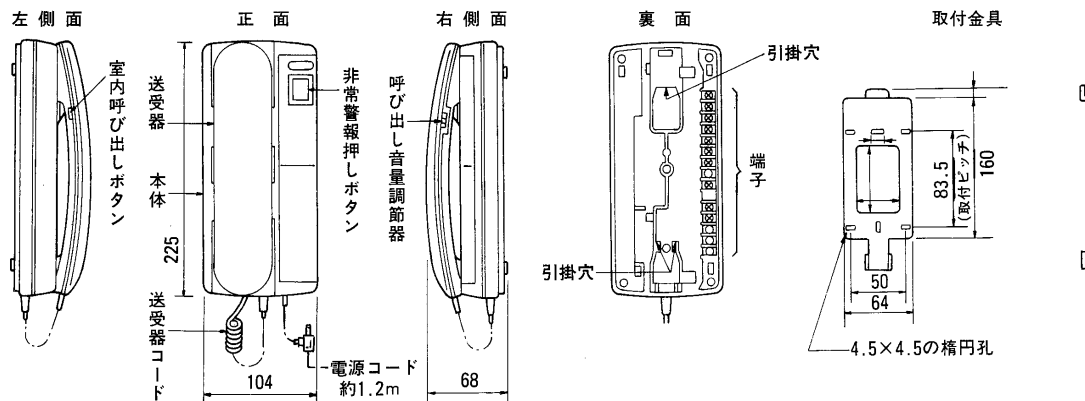
TOSHIBA

東芝インターホン取扱説明書

セキュリティドアホン非常警報付2局用親機 HTU-2PS

このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。
お求めのインターホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

各部のなまえと大きさ(単位: mm)



特にご注意を

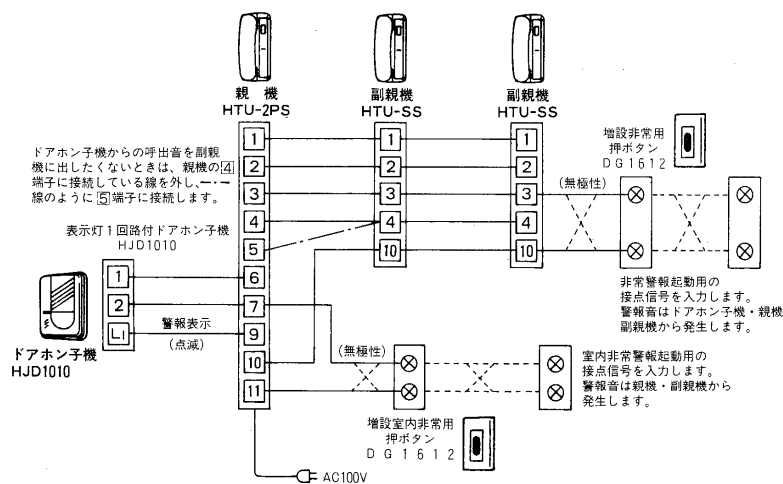
- 不要な電波雑音をさけるため、空中配線、AC100V以上の配線との並行配線はおやめください。
また、落雷による事故防止のため屋外での空中配線や露出配線は絶対におやめください。
- 本体はあけないでください。
- 親機の電源は必ずAC100Vのコンセントに接続してください。
AC100V以外のコンセントに接続しますと故障することがあります。

組み合わせ接続例

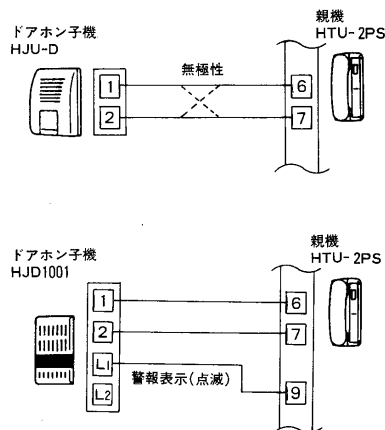
■ 組み合わせで使用できる機器

- ドアホン子機 HJU-D ……警報音は鳴りますが警報表示灯が付いていません。
HJD1010 ……警報表示灯付き・露出形 } 1台接続できます。
HJD1001 ……警報表示灯付き・露出形・半埋込形兼用
- 副親機 HTU-SS ……2台まで接続できます。
- 非常用押ボタン DG1612 (プレートは別売)、DS3532 ……何個でも接続できます。
- その他カタログなどに記載された機器

■ 接続例(最大接続例)



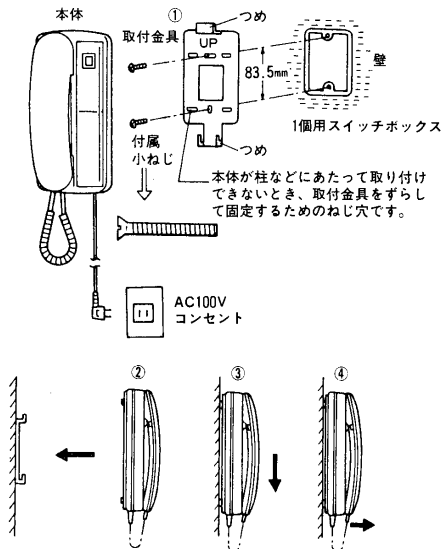
- ドアホン子機としてHJU-D, またはHJD1001を接続する場合



取り付けかた

■ 1個用スイッチボックスに取り付けるとき

- ①取付金具を付属のねじ(さら小ねじM4×30mmプラマイ)2本で、すでに取り付けられている1個用スイッチボックスに「UP↑」を上にして取り付けます。
- ②配線したのち、取付金具のつめに本体の底ぶたの引掛穴を合わせて本体を押し込み、
- ③下方へ引いてください。
- ④正しく取り付けられたか手前に引いて確かめてください。(はずれなければ取付完了です。)

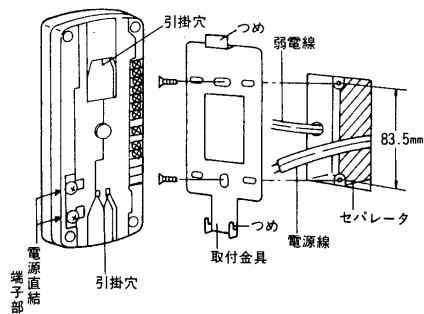


■ 柱や壁に取り付けるとき

- ①取付金具を付属の木ねじ(丸さら木ねじ4×20mmプラマイ)2本で柱や壁に取り付けます。(取付金具は、「UP ↑」を上にして取り付けてください。)
・付属木ねじ.....
- ②以後は上記の1個用スイッチボックスに取り付ける手順と同じです。

■ 電源を直結するとき

- 電源は親機裏面で直結することもできます。(この工事は電気工事士の資格が必要です。)
- 電源線(AC100V用)と弱電線を同一ボックスに入線する場合、スイッチボックスはセパレータ付きをご使用ください。
- 電源線は電源端子カバーを取り、電源コードをはずしてから接続してください。電源線を接続しましたら、必ず電源端子カバーを取り付けてください。

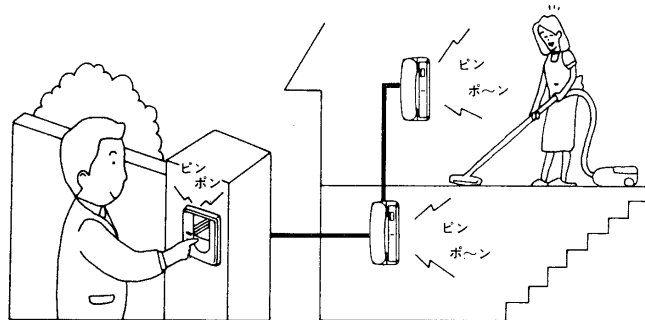


使いかた

① インターホン機能の使いかた

■ ドアホン子機から呼ばれたら

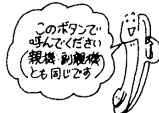
- ドアホン子機の呼び出しボタンを押しますと、親機・副親機で呼び出し音が鳴ります。(このとき子機でも呼び出し音が小さく聞こえ、呼び出していることが確認できます。)



- 呼び出し音が鳴りましたら、親機・副親機どちらでも、送受器を取れば子機と通話できます。

■ 室内間での呼び出し

- 送受器を取って通話中でないことを確認したら、室内呼び出しボタンを押しますと、他の室内に呼び出し音(ピー)が鳴ります。(室内に3台使用している場合、残りの2台に鳴ります。)



- 呼び出し音は約1秒間鳴ります。(そのとき自分の受話器からも小さく呼び出し音が聞こえます。)
そのままボタンを押しながら、送話口に向って話しかけますと、「音声」での呼び出しができます。



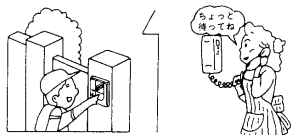
- 呼ばれたら送受器を取るだけで通話できます。
- 相手が出ましたら、呼び出しボタンから指を離して通話してください。

〔ご注意〕

- 1.室内間で通話中に、小さく呼び出し音(ピンポン)が聞こえたらドアホン子機から呼ばれたときです。そのときは親機・副親機とも一度送受器を掛け、再度取ってドアホン子機とお話してください。
- 2.室内間で通話する場合は必ず、室内呼び出しボタンを一度押しってください。押さないで通話しますと、ドアホン子機に通話が漏れます。

■ドアホン子機との通話を他の親機または副親機に転送するとき

①ドアホン子機側に転送することを伝えます。



②室内呼び出しボタンを押し、転送先を呼び出して、ドアホン子機と通話するように知らせます。

(このとき、ドアホン子機は切れています。)



③親機・副親機の両方とも一度送受器を掛けます。

④転送先の送受器を再度取りますと、ドアホン子機とつながりますのでお話しください。

②非常警報機能の使いかた

非常警報には次の2種類があります。

【非常警報】

親機・副親機から警報音(ピーポーピーポー)が鳴り、ドアホン子機からは、警報音(ピーポーピーポー)が鳴ると同時に、警報表示灯を点滅表示します。室内の非常状態を他の部屋にいる人や外部の人に知らせるために使います。

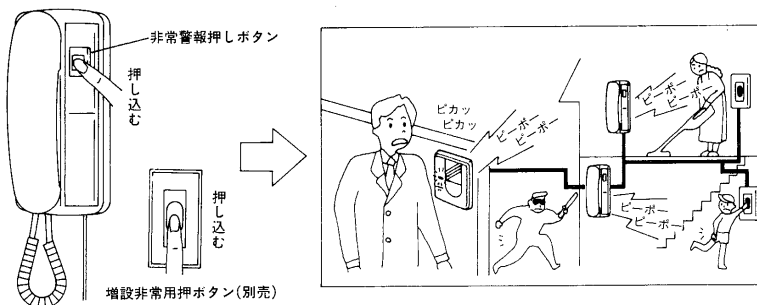
【室内非常警報】

親機・副親機だけに警報音(ピロピロ…)が鳴ります。室内の異常状態を他の部屋にいる人に知らせるために使います。

■非常警報音の鳴らしかた

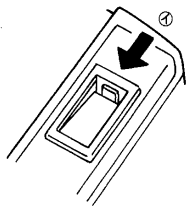
非常時に親機の非常警報押しボタン、副親機の非常警報押しボタン、または増設用の非常用押しボタン(別売)をカバーごと押し込みますと警報音(ピーポー・ピーポー…)が親機、副親機、ドアホン子機の全てで鳴ります。

そのとき警報表示灯付ドアホン子機を使用している場合は、警報表示灯が点滅します。

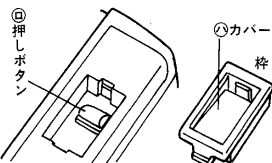
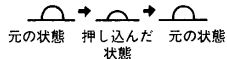


■非常警報音の止めかた

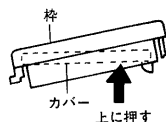
①①の部分をついでつかんで押しボタンのカバーを枠ごとはずします。



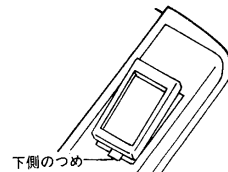
②押しボタン②を1回押し、押し込まれた押しボタンを元に戻します。これで警報音が止まります。



③押し込まれたカバー③を元の位置に押し上げてください。



④最後に枠を元の位置にはめ込んでください。図のように下側のつめを先にはめ込み、最後に上側を押し込んでください。



増設の非常用押しボタンがある場合も、押したボタンを復旧しますと警報音は止まります。

■室内非常警報音の鳴らしかた/止めかた

増設した室内非常用押しボタン(DG1612等、別売品)をカバーごと押し込みますと室内非常警報音(ピロピロ…)が、親機・副親機で鳴ります。(ドアホン子機へは警報音、警報表示とも出ません。)

室内非常警報音を止めるにはカバーをはずし、押し込まれたボタンを引き、元にもどします。

■室内からドアホン子機を呼び出すとき

ドアホン子機を呼び出す場合は、親機・副親機どちらからでも送受器を取りあげるだけで「音声」で呼び出せます。(呼び出し音では呼べません。)

■通話が終わったら

●通話が終わりましたら送受器をもとのように正しく掛けてください。正しく掛けませんと呼び出し音や警報音が鳴りません。

■呼び出し音量の調節は

●送受器右側面の呼び出し音量調節器で大・中・小の3段階の調節ができます。お好みの音量に調節してご使用ください。

●非常警報音、室内非常警報音の音量調節はできません。



呼び出し音量調節器

ご注意とお願い

このインターホンは屋内専用で-10℃～50℃の温泉範囲で使用するように設計してつくられています。

つぎのような場所には取り付けしないでください。

- ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。
- 直射日光のあたる場所。
- 製氷倉庫など-10℃以下になる場所。
- 浴室など特に湿度の高い場所。
- 有毒ガスやいろいろなほこりの特に多い場所。
- 水や薬品がかかるおそれのある場所。

お手入れのしかた

- 本体や送受器はやわらかな布でからぶきしてください。
- 汚れがひどいときは石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- 機器をいためますので、ガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふかないでください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ親機の電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なお、ご相談されるときは形名(HTU-2PS)およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕 様

1. 通話網の方式 親子式
2. 通話方式 電話形同時通話式
3. 電 源 AC100V 50Hz, 60Hz共用
4. 消費電力 待受時2W, 最大時5W
5. 呼出信号 ドアホン子機から電子チャイム音(ピンポン)
(呼び出し音量は3段切替式)
6. 警報信号 非常警報音: 電子サイレン音(ピーポー)
室内非常警報音: 電子警報音(ピロピロ)
警報表示灯用点滅信号(DC12V, 10mA)
7. 設 置
- 7.1 設置形式 壁掛形(1個用スイッチボックスに適合)
- 7.2 設置場所 屋内専用(使用周囲温度-10℃～+50℃)
8. 配線本数 親機～警報表示灯付ドアホン子機間: 3線(有極性)
警報表示灯が不要な場合は2線(無極性)
親機～副親機間: 5線
親機～増設非常用押ボタン間: 2線(無極性)

9. 通達距離

線種	公称断面積	0.3mm ²	0.5mm ²	0.75mm ²	1.25mm ²	2mm ²
	(本/mm)より線	12/0.18	20/0.18	30/0.18	50/0.18	37/0.26
(mmφ)単芯線	0.65	0.8	1.0	1.2	1.6	
距離(m)	①親機～ドアホン子機間	150以下	250以下	300以下	600以下	1000以下
	②親機～副親機(注)	150以下	250以下	300以下	600以下	1000以下
	③①+②の合計距離	150以下	250以下	300以下	600以下	1000以下
	④親機～増設非常用押ボタン	150以下	250以下	300以下	600以下	1000以下

(注)副親機を2台接続し、送り配線する場合は表記の1/2の距離になります。

10. 重 量 約740g(取付金具を含む)
11. 色 調 ホワイト
12. 材 質 プラスチック(ABS樹脂)
13. 付 属 品 取扱説明書……………1部
使用方法ラベル(本体に吊り下げ)……………1部
東芝お客様ご相談センター—覧表……………1部
取付金具(本体に付属)……………1個
小ねじ(M4×30)……………2本
木ねじ(φ4×20)……………2本